

八
大
下
週
報

晴雲
46

「おもしろい話があるんや聞いてんか」
乙「実はな、もう暫くすると今のは仕事が
ボーカルしますねん。仕事が無うなると甲
はん退屈で身のおきどころあれへん、そ
れでやな。今の仕事始めたのは五年前で
すが、この大仕事力ボーカルたら、次は是
非手がけたいと目論んだのが、これです

「何ですか？」
「靈柩車だす……」
「工ツツ、靈柩車？」「葬儀屋始める
んですか。」

○「結構ですね。新調というと、株でも募るのですか。」
「新調しようという案ですわ。どないだす、この案は?」

甲「この靈柩車ばかりは、お互い一ペん
けまつねえ。」

乗らねばならぬ運命を嘆いて居るが、この案にいやとは云わんやろ思います。わたくの調べでは、バストスでは毎年六十人は、あの世行き、先月あたり五人の葬儀が出ましてん。その内の一つですが

、雨が降りまして、お棺を例によつてミニオンに乗せ、一部会葬者は車がないよつて、その力ミニオンに同乗しますやろ。会葬者は今さすからよいが、お棺はぐしよ濡れや。車の走るたびにお棺は搖

れる。中のホトケはどないやろ……と思ふと、何ともいえぬ気持だつたのですわ乙バス停でも、これまで靈柩車で旅立つた人はあつたけど、五六人やないかよ。オフスワーゲンの内部窓にして、

○へほんと、そういえば、靈柩車に乗つ
外側に黒幕張つて間にあわせたのもおま
したけど、やはり靈柩車にはかないまへ
ん。

「て堂々と天国入りしたのですな」
甲「入植当時やつたら、仕方おまへんが
、もう皆さんのお懐具合も、ようならはつ
たし、おちついた暮のでけるようになつ
た今ん日やさかいに、お棺を力ミニオソ
にほり上げることだけは、やめたいもん

Sapatria Bastos

堅 安 優 美 早 仙

磨きあがけられた高級靴
それが紳士の条件！



ですわ。ホトケはお棺の中でローリング
……ここは一つお互に考えんなうんとこ
ろとちがいまつか。ホトケを靈柩車で運
地へ送つたげる。この位のいたわりが
もうばつばつ実現してもええやろ思いま
すねん。

○「ごもつともです。御趣旨にはそ
す。しかし、一歩みこんでお導き

わかもと製薬株式会
わか美容化粧研究



十一月二十
晚行
Diretor
Kriti Mor
Redator
Shion Odz
Bisa, Pre
Vargas 18
C.Postal 11
Fone 4 1
BASTO
G. P.
Anual
M. Cr
15.00
Adiam

老人の音楽会

どんなきっかけで、老人たちが唄の会を作ったか、はっきりした動機はないのだが、ことの起りは、南銀支店長小林さんが端唄に興味を持っていて、いつて、古田糸羊羹氏と一緒に私のところへ遊びに来たのが八年位前のことだから、古い話しがある。何でも、小林さんの希望では「都々逸と「稽古」位い唄えるようになれば」という目標だったのに、古田糸羊羹氏が手ほどきしたらしい。二人の稽古がどの位続いたか、聞く折もなかつたが、私の家へ遊びに来た頃は、さほど上手ではなかつたが、それでも歌かい、泣くよりましたよ。級よりは、だい分上であつた。

二人が私の家へ来たのは、仲間をふやすのが眼目で、私もその時勧誘されたわけだ。仲間が四五人あれば、三味線の先生を迎えて、本格的に練習しようという壮大だつた、先生は誰がよからう。三味線の弾ける人は、グロリア1区に岩田のおばさんがある。栖原夫人がある。町には宮武さんという生花の先生で三味線も上手な人もある。

どう相談がまとまつたものか、三人とも迎えようといつて、ある土曜の夜、三昧線三人、唄の生徒が三人で、最初の稽古を催した。この時手ほどきを受けたのが「わしが国さ」であつた。何でも懇が深くて「青柳」も「えんかいなし」とがん美氏はペテラーノだし、私もうろ覚えに覚えてしまおうという勢であつた。小林さんはまあ初心であつたが、古田糸羊羹氏は日本へ大分市へで小唄に乗らぬ声を出すと「あかん」といつた。一寸でも節がまちがつたり、三味線の師匠をしていた人で、三味線は達者だし、声も七十歳とは思えぬ程充実していなかった。玉杓子をかき込み、声を引つぱる処や、玉杓子をまでこまごま書き込み、楽譜を見合の手までこまごま書き込み、楽譜を見るまでやめない。岩田のおばさんもねばり強いが、小林さんも中々頑張つて、一

死亡通知並に会葬御禮

故母・大河内イト(八十三才)儀、二週間程静療中、老年の為め治療叶わず去る十一月十三日午前一時眠るが如く大往生致しました。

依而同日午后六時自宅出棺バストス墓地に埋葬致しました。此の儀辱知各位に謹告申上げます。

追つて葬儀の節は悪天候にも拘らず御遠路の廻態々御香料並に花輪など御上御下重なる御香料並に花輪など御恵供下され誠に御礼の言葉も御座いません。

一々御廻礼に参上いたすべき廻取込中にて失礼とは存じますが賂儀紙上にて取敢えず御礼申上げます。

一九六九年十一月十四日

ウニオント区第四組

大河内俊次

外家族一同

親戚一同

ウニオント区 様

ウニオント区第四組 様

ウニオント区男女青年団 様

バストス南米本願寺 様

バストス仏教婦人会 様

老人俱楽部 様

バストス在住者の皆様

Eletro Radio Oriente

アレピソル

ラジオ・ステレオ・ピアノ・金庫
 タイ・ライ・ターラジオ・トランジスター
 洗濯機(セネクマキナ)
 その他何でもあります。

各種家庭電気器具類一切

ガルサ市・ルア エイトローベンテアード一一一一番

本店 八巻兄弟商会
 郵函二七九・電話七七三番

御注文はバストス市、ツツキデカンシヤス街角

代理人 宇佐美宗一

バストス電話店 一四六・宅 一三五

夜に三時間から四時間にわたる大修業であります。小林さんの当時の年配は四十歳くらいだったうしく「老人会」にふさわしくない若手の存在だつた。小林さんは加わり、この人は若いに似ず、色々な曲を知つて居て、いつしか会の重鎮にしてしまつた。「紀伊の国」だの「香に迷うし」という、しゃれた唄まで手を出し、大いに秀才振りを發揮したものだつた。稽古場は主として私の家であつたが、時にはグロリア岩田家、栖原家へも押しかけていったが、両家とも快よく席を開放してくれた。一つには師匠さ方が遊び好きで、「弟子の方が唄いつかれて、デスクアンサしていると、さあ、次は何をやりますか」と、ハッパをかけられるのである。この唄の練習は、健康によいと思われるのは、謡曲やその他の声楽と同じく正座して、下腹部を突出すように構えて发声するので、身体にこもる鬱氣發散されるからであろう。

中島産組氏や、小林氏は若いだけに声が美しく、且つ声量もあり、一曲明い終つて尚餘裕しやくしゃくたるものがあつたが、私のように七寸に手の届いたべとりよは、声をはり上げたりすると、すうつかすれてしまい、吾れながら貧弱

こんな修業を二年位づけたであろうか。小林銀行子などは馬鹿にうまくなかでしまい、支店長会議などの慰労宴会などでは、料亭一流の三昧線を相手堂々と手は「おい、どうした?」など天尻るもや間を正確におくので、何も知らぬ聞き手は「おい、どうした?」など天尻るも、已頃鍛えた咽を御披露に及ぶ。合の手アンコールと大喝采で、これひとえに先生のおかげと、頭をさげて、お礼をいふことがある。普通なら道楽学校見たいなものだが、吾々の稽古日には大ていアルコールが出ているのである。半分遊山気分といふ程でもないが、多少気分を醸されば唄いにくい……というわけで、茶菓や酒肴の見えることもある。栖原夫人の家へ行くと、円卓に廻狹しと御馳走が並び、ウイスキー、ビール、日本酒と供りどり見どり、いいかげんに気が出たところで、「デデンと鳴り出すと、弟子は順ぐりに唄を披露するのであつた。

5
そうしてもう一つ記しておきたいことは、三味線の師匠たちに一文も御礼をしていいのである。はじめは包金で

もと考へていたが、教えてくれるが、月謝はとりそらもない。つい、そのまま友達になってしまったのである。

それからというもの、会員を次々ふやしたが、吾々のようなキ印は少く、一二回け出席するが、いつか洩れてしまう。無理に引き止めはしなかつたが、こんどは内部から崩壊が来た。

中島産組が上聖することになり、送別歌会をしたと思つたら、間もなく小林銀行氏がマリリアへ転出することになつた。こりやさびしいことになつたなあと云つていると、こんどはペテラーの古田糸羊羹氏も店を売つて上聖することになつてしまつた。

「唄の会」など潰れたとて、どういうことはないが、一沫の寂しさが尋々胸に迫るのをはういかねるのであつた。そして「唄の会」も駄目になり、しばらく中絶していると、ある日グロリア岩田家が、「唄の会」も駄目になり、しばらく中絶していると、ある日グロリア岩田家が、マリリアへ移転することとなつた。そして又移転が急速だつたので、送別歌会も何もする暇がなかつた。その後岩田氏は、カンピーナスへ再転出した上、おばさんは突然耳が遠くなつて、話も出来なくなつてしまつたといつた。

それから半歳くらいは、ついピンともシャンとも三味も鳴らず、唄だけは時々口三味線で、過去の盛んな唄会をしのんでいたが、ある日内が「唄の会」再建を提唱した。つづく

御禮
去る九月下旬小林小久こと膝骨骨折の負傷をなし、約三週間マリリア市サンタカーザに入院加療致し、以後自宅に於て静養し、近頃漸く物にすがつて歩行できるようになりました。
最近の医術の御蔭で不具より免れたと喜ん居る次第で、院長さんも経過良好を満足しておられますか、追々元通りになると思われます。
その間皆様方より御親切なる御見舞、誠にありがとうございました。
聖市開教本部、各地寺院関係の方々をはじめ、当地交遊の各位にも一々御礼に上る可きですが、取りあえず紙上にて御挨拶申述べます。
一九六九年十一月十八日

名位	夫	小林平志
	長男	小林平行

おしらせ

生長の家
こうえんかい

会場 生長の家会館
日時 十二月六日 夜八時

講師 パラナ州アルボラーダ在住
パラナ第二連合会長

三輪義雄先生

藤田

農場

蚕歩合作（八歩）
求む

設備完全（床はセメントード）

屋根は鐵水式、養蚕室・稚蚕室・

住宅、全部完備しています。

イヌビア駅より一キロ三〇〇の所

どうぞ皆さんおきい合せご未聴下さい

イヌビア、郵便二七

電話三二一一番

主催

生長の家バストス誌友会

FIDAMを見て

御知らせ

“FIDAM”とは“FEIRA INDUSTRIAL DE AMERICANA”的頭文字の集つた言葉で、アメリカ工業見本市とでも訳しましようか。

アメリカの歴史は、聞く所によりますと、バストスと同じで四十二年とかなりますが、私が、四年前訪ねた時と、此の度FIDAMを見るため訪ねた時との町の発展ぶりには、目を見はるものがありました。

四年前は高層建築は一つもなかつたが四年間のうちに、町の中心部に、ビルが二ヨキニヨキと建を並び、今も三十階近いビルが建設されつつあります。誠に都

会という感じに生長してきました。

アメリカのムニシピオは、聖州内で三番目に小さいですが、殆どシチオの産物はなく、紡績関係の工場が多く、大小合せて四百何十という工場数とか、

その工場で町が支えられているようです。FIDAMは、その工場町のお祭りのようなもので、丁度バストスの卯祭と似た感じです。二カ月も前から準備にかかり、同市の生産物を陳列し、二週間の開期中遠来の客に見てもらい、帰りには、アメリカ産の布地やその他の製品を買つてもらうという仕組み。

私は何年か前から、この見本市の案内を受けていたのですが、なかなかひまがとれず、どうしても行けませんでしたが用事があつたので、思い切って出掛けてしましました。(十一月十五日、十六日) FIDAMの様子を自分で見て来て、みんなに話さなけりや、するいよ。一つ原稿でも書きなさい」と、糸音氏に言われたので、私の見た所、感じた所を書いてみたいと思います。

前述したように、アメリカには四百数十の紡績関係の工場があり、FIDAM委員会という会があつて、そのグループに殆ど全部が入つてゐるそうです。が、九回目の今年は、全部の会社は参加しなかつたそうで、小さな見本市だと聞きましたが、初めて行った私には、かなり立派な見本市に見えました。

殆どが製糸と織物との製品、その他織機、家具、科学薬品の利用等少々陳列してありました。その中に、日系会社が二つ、東洋紡と日紡ですが、あまり目立つた製品は出ていませんでしたが、日本をよく宣伝していました。

特に感心したのは、イタリア系のレーヨン会社、節り付けは、あかぬけして居り、製品はどこも似たり寄つたりでした

RETIFICA SOLA

RETIFICA de Virabrequins Beilas Comando do Valvulas Blocos Valvulas e sede de Valvulas Telefone 1138-TUPA-C.Postal: 164 C.P.

レチファイカソーラ

ツパン市
ルアガラニス街五〇三
カリーショス街角
郵函一六四番
電話一一三八番

料金分割払い

十回払い迄の相談に応じます。

親切丁寧迅速

各種のモトールのレチファイカ
ディゼル及びガソリーナ
力ミニオン・トラトール

エスタシオナリオ
取りはずし・据付

完全試運転の上お渡し致します。

日時	十二月十三日(土)二時より勤修	記
野口	シネマの上映	御法話
二匹	英世の少時代	御法話
あわせ	のよくばり小熊	おとぎが出来ます。
子供	の行く末	御法話
皆々様	バスース南米本願寺	合掌

りでしたが、布地の柄へデザインが流行の色彩を取り入れた中にも上品さがあり、私にとって一番印象的でした。

私のFIDAMを見に行つた第一の理由は正確なデザインを見る上で、学ぶ所が沢山ありました。これは、伏せておきましょう。

全体に趣向をこらした飾り付けがなされて、とても楽しく見ることが出来ました。日系の進出も目ざましいと、よく言わられる言葉ですが、イタリア系、アメリカ系の会社などもあって、やはり此処はブラジルだなと思いました。FIDAMの直売店もあって、値段が安いせいか、お客様さんは山のようでした。私もペチヤンコの財布をたたいて、少々買物をし、今まで知らなかつたブラジルの織物業界の発展ぶりに驚きつつ、FIDAMを去りました。

FIDAMは世界に名の知れた見本市FIDAMの商人がFIDAMを見に来た事が載つていました。

FIDAMは世界に名の知れた見本市だつた事を、私は知りませんでした。

A·U·

日本移民が主としてコーエー耕地労働者として費伯したことはすでに述べた。しかし、日本移民のコーエー耕地における労働はついにブラジル側から及第点をもううこと出来なかつた。

一九二二年、藤川総領事が日本移民に対するサンパウロ州政府から渡航補助金が出なくなつた理由を、時の大農務長官にたたずと、その回答は、左の如きものであつた。

「日本移民は資本を携帯し來り、在耕はずか一ヶ月内外にて独立農園にうつるは、既往の事実の示すところである。日本の人が耕地に定着せざるため、州政府は新規移民募集招来のため巨額の費用を投じ、その補充を計らねばならぬ。」

日本移民に対して、州政府は渡航費十七ポンドを補給し來たが、毎年耕地に付し日本移民を補充せんとせば、政府は結果二年目には日本移民一人につき三十四ポンドを支払わなければならぬ。これに反し、葡、西、伊の各國移民は長く耕地に止まる故に僅か十七ポンドの支出にて事足りる訳である。州政府の補助が、日本移民に給せられざる理由は右の通りであつて、何等意味があるのではない。邦人海外發展史、下巻二九一頁）

これによつて見ても、日本移民がコーエー耕地に不向であつたことがうなづける。これはドイツ移民などにも云えることであつて、彼等は早くからコーエー耕地入りを断念していいたのである。

ところが、日本移民が耕地に定着出来なかつた理由はどこにあるであろうか。その一部はすでに第三の「どんな種類の移民であつたか」の項で説明した。それ

ブランジルに於ける 日本移民 六

一 生産者としてたどつた段階
及び構成した社会一

長 戸 英 道

長崎県佐世保市出身

神経痛・リューマチス・脊髄病・腰痛
胃腸・肝臓病・肩の凝・関節炎・中
風・等諸難病で御困りの方は迷うことなく、ツパン市
羽守旅館までお訪ね下さい。

旧九洲帝国大学医学部東郡医学研究所
並びに関西鍼灸学院出身

鍼灸マッサージ師

難病の方に

おしらせ

御好評をいただきました

鍼灸・マッサージ師は

十一月二十五日から十二月二十五日迄
ツパン市

羽守旅館に於て

治療に従事いたします。

神経痛・リューマチス・脊髄病・腰痛
胃腸・肝臓病・肩の凝・関節炎・中
風・等諸難病で御困りの方は迷うことなく、ツパン市
羽守旅館までお訪ね下さい。

旧九洲帝国大学医学部東郡医学研究所
並びに関西鍼灸学院出身

鍼灸マッサージ師

Olaria Taniguti

C Post 167, Fone 69 RIO DE JANEIRO



白色硬質美麗

建築、鋸、井戸側に最適当煉瓦

車一台に四千から五千枚、

一千枚三十コ新ケルゼイロス

御多數御買上に対し割引

の御相談に応じます。

建築には良質の煉瓦をお使用下さい

リノボリス市

谷口レンガ工場

電話六九番

言葉の感覚

文法通りにはいかぬ

○「あの子は負けずきらいだ」ということは「負けないことがきらい」で、「云い替えると「負けることがすき」という意味になる。けれど、いつてる人は「負けられない」という意味で云つてゐるのである。
 ○京都ポンント町に降る雪も、雪にかわりは無いじやなし」というお座敷小唄も、ほんとうの意味は「かわりがある」のだが、まあ、目くじら立て訂正するのも大人気ない。
 では「負けずぎらい」と「負けざらい」とは、どの様に違うか、意味は反対だが、「負けずぎらい」といふた方が意味も強いし、表現に綴があると思つて使うのだろう。

○出来るなら」いうのを「出来得るなら」と、いつた方が、しゃれているようと思つて使うのと一般だろう。
 ○「あの人につづけを云い忘れた」「味の素を買い忘れた」は、「云うこと忘れ、買うことを忘れた」が「オニブスの中に今を置き忘れて来た」は、「置いて来ることを忘れた」のではなく、「コジンニアの電気をつけ忘れた」のも、「電をつけることを忘れた」ではない。その反対で、今を置いたままであり、「電気をつけ放しのことをなのだが、普通何気なく、置き忘れたのであろう。○近頃よく雨が降る
 ○「夕立の来ない前に帰ろう」は「夕立の来る前に帰ろうが正しく」「ころばぬ先に杖」は「ころぶ生に杖」が正しいだろう。
 ○更に「火事にならぬ前の火の用心」がほんとうだ。だが実際は、夕立が来ては困る、火事になつては困る。ころんでは困る、といふ感情が自然に表われて、そうなるのであろう。
 ○反対に「うと、意味の強まる言葉がある。「つまらぬことを云う」時に「くだけらぬことを云う」といふくだることをいいよろ」というより、「きわまりない」どう方か、きめがこまやかだ。これらになると全く、文法の外と云う可きであろう。

新年号へ

御申込・み下さい

電話四〇番
バス・トス週報社

アボロ12号

月の裏面へ安着メモ

○アボロ12号は、十一月十四日午後一時二十二分、フロリダ州ケネディ岬宇宙センターより発射。悪天候、豪雨、落雷の中をものともせず、時速二万キロの猛スピード。○船長、チャトルス、コンラッド、リチャード、ゴードン、アランビートン宇宙飛行士、○十一月十六日順調に月に接近、十七日午後十一時五十分、月周軌道旋回下準備。十八日午前三時三十六分、月裏側に入り、十九日午前三時五十三分月面あらしの大西洋に着陸。

○宇航員は、これを防止せんと、例の過激派学生約四万が火薬瓶をなげつけて大暴れ、まるで暴動騒ぎであった。此の日全国の反戦デモに参加した労働者学生は七十二万というが、警視庁調査では十二万人という。沖縄返還という重大な役目を果さうとする首相を、渡米させまいとする非合法な暴動がくり反えされるというのが日本の現状だとすると、全くおかしな世の中だ。

日本より 過激派学生大暴れ

週報誌代について

十一月十七日午前九時、佐藤首相、官邸よりヘリコプターで羽田発日航機で渡米、これを防止せんと、例の過激派学生約四万が火薬瓶をなげつけて大暴れ、まるで暴動騒ぎであった。此の日全国の反戦デモに参加した労働者学生は七十二万というが、警視庁調査では十二万人という。沖縄返還という重大な役目を果さうとする首相を、渡米させまいとする非合法な暴動がくり反えされるというのが日本の現状だとすると、全くおかしな世の中だ。

愛読者各位

コント、年の瀬

バストス週報社

BABA BABA
 こう流れが早くては、とても流れぬ
 おど、そちへ行くと深みえはまるせ
 い、そ深みえはまつて
 何を云うぞ、この流れに押し流され
 ては大変だ、早く渡ろう、わしのあ
 とから、ささ旱う、
 アイタタミ蟹が足にくいつて引はりよる
 カニ(借)あつたのじやな、
 ああ、年のせはつれい、

